

第15回 社会福祉会計簿記認定試験 解答用紙

上級（財務管理）

（令和元年12月1日施行）

所 属	該当する項目に☑をご記入ください				
	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人役員		<input type="checkbox"/> 会計事務所職員		
	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人（社協以外）職員		<input type="checkbox"/> 公務員		
	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会職員		<input type="checkbox"/> 学生		
	<input type="checkbox"/> 金融機関職員		<input type="checkbox"/> 会社員（役員を含む）	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
受 験 番 号		氏 名		得 点	

1

(単位：千円)

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	

2

(1)	円
(2)	個
(3)	円
(4)	円

3

(1)

① 操業度の増減に応じて比例的に増減する原価	
② 意思決定の結果によって変化する原価	

(2)

円

(3)

円

(4)

法人の調理職員が食事の調理を行った場合に比較して、外部委託した場合には、16年間の将来キャッシュ・フローは、

円

の差が生じ、

(法人の調理職員が食事の調理を行った場合 or 外部委託した場合) (いずれかに○)

の方が、有利である。

4

(1)

(ア)	千円
(イ)	千円
(ウ)	千円

(2)

B法人の要約貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：千円)

現金預金	120,000	事業未払金	12,732
事業未収金	93,032	1年以内返済予定設備資金借入金 ()	
その他の流動資産	2,800	設備資金借入金 ()	
土地(基本財産)	95,700	その他の固定負債	5,980
建物(基本財産) ()		基本金	88,100
車両運搬具 ()		国庫補助金等特別積立金 ()	
施設設備整備積立資産	93,980	施設設備整備積立金 ()	
その他の固定資産	11,300	次期繰越活動増減差額 ()	
資産の部合計 ()		負債及び純資産の部合計 ()	

(3)

(ア)	千円
(イ)	千円
(ウ)	千円
(エ)	千円

(4)

B法人は、令和5年度末時点で、施設の建替えに必要な自己資金200,000千円を確保することができない。

ただし、【資料3】の令和5年度に関する前提条件が令和6年度以降も同じように推移すれば、令和()年度において自己資金200,000千円を確保することができる。または、サービス活動収益対経常増減差額を令和5年度末までの5年間で合計()千円を追加で確保できれば良い。

5

(1)		円
(2)		円
(3)	(ア)	円
	(イ)	円
	(ウ)	円
(4)		円
(5)		円